

孤立・孤独に関する設問

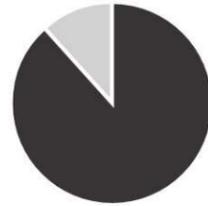
約1割の方が孤独とじておられる

「困ったときや相談したいときに頼れる人がいるか」「どのような人付き合いがあるか」「自分は孤独だと思うことがあるか」などについてお尋ねしました。家族や友人・知人など、身近な人を頼りにしている方が全体の8割以上ある中で、頼れる人や相談相手が限られている、あるいは「相談したいと思わない」「相談しても変わらない」と感じておられる方もありました。

また、孤独だと感じる方は約1割おられ、「どんなときに孤独だと感じるか」については、けがや病気になったとき、将来のことを考えたとき、一人でいるとき、同居家族がいないなどの回答がありました。

Q 困ったことがあったときに、頼れる人はありますか？

- ある (88.4)
- いない (11.6)



Q 相談したいことがあったとき、相談相手はいますか？

- ある (84.6%)
- いない (10.9%)
- 相談したいと思わない (4.5%)



Q 自分は孤独だと思ふことがありますか？

- ある (10.9)
- ない (89.1)



家庭内のひきこもりに関する設問

幅広い年代で起こりうるひきこもり

ひきこもりの定義を示した上で、該当する方の有無や年代、期間、健康状態、きっかけ、相談状況、必要な支援などについてお尋ねしました。

回答から、ひきこもりは学齢期から中高年層まで幅広い世代で起こり、10年以上に及ぶ長期化の事例もあることが分かりました。相談先として学校や医療機関、保健所、役場などが挙げられる一方、「相談先が分からない」「知られたくない」といった理由から、相談に踏み出しにくい事情も見られました。

また、「身近にひきこもりの方がいた場合のかわり方」や「社会や役場への要望」については、地域での声かけやつながりづくり、ひきこもりへの偏見をなくす社会を望む意見が寄せられました。当事者や家族からは、偏見やうわさをなくしてほしいとの声もありました。



相談窓口

与謝野町では、「ひきこもり」状態にある方の「居場所・生活支援事業」として、2カ所の「居場所」の開設をしています。相談や利用は無料で、秘密は固く守られますので、お気軽にご相談ください。

>>> 「たんぼぼ」の家

字後野 811 番地 1
月曜日～金曜日（祝日、年末年始を除く）
午前 10 時～午後 3 時
☎ 21-4407
※ NPO 法人たんぼぼ与謝野に業務委託

>>> 「かえでのわ」

字岩滝 861 番地 2（旧かえでこども園内）
毎週水曜日（祝日、年末年始を除く）
午後 1 時～4 時
☎ 080-2507-9010（平日午前 9 時～午後 6 時）
※ 労協センター事業団「ひととわ」に業務委託
※ 午前中は、京都府の「チーム絆」事業による出張相談があります



「孤独・孤立」、「ひきこもり」に関するアンケート結果

人と人との「つながり」が実感できる地域づくりをめざして

令和 7 年 2 月に全世帯を対象に実施しました『「孤独・孤立」、「ひきこもり」に関するアンケート』にご協力いただき、ありがとうございました。

与謝野町では、引き続き、学校や京都府、就労支援機関などとの連携を強化しながら、一人ひとりの孤独感や不安に寄り添い、孤独・孤立を防ぐための見守りや相談体制の充実を図ってまいります。また、悩みごとや困りごとが生じたときに、一人で抱え込まず、声を上げやすく、声をかけやすい地域づくり、人と人との「つながり」が実感できる地域づくりをめざしてまいります。

今月号では、アンケート結果の概要をお知らせします。なお、^{せんさい}繊細な内容を含むため、一部詳細な報告を控えさせていただいておりますので、ご理解をお願いいたします。

☎ 福祉課 ☎ 43-9021

アンケート概要

- 調査対象 町内全世帯
- 配付数 7,156 部
- 配付方法 各戸配付（令和 7 年 1 月 24 日）
- 回収率 28.75% [2,057 件、内訳…郵送（1,840 件）、オンライン（217 件）]
- その他 アンケートではありましたが、役場への相談を希望された方には、順次、担当からご連絡をしているところです。